



# 浦島伝説

## 燃えた! 詫中魂 第1回春季体育祭

さわやかな季候の中で思いっきり練習してほしい、新しい学級の仲間づくりに役立ててほしいなどの願いから、春に移行した初めての体育祭でした。秋の体育祭より練習時間が短くなるのはわかっていましたが、例年より早い梅雨入り、思いがけない台風接近など、予想もしていなかったことが起こりました。でも、それらをうまくできない言い訳にはしたくないとの強い思いが、より全員の気持ちを一つにしていきました。

5月31日、「春」最後の日。雨で2日順延となった体育祭は、絶好の体育祭日和に恵まれ、「燃やせ! 詫中魂 ~己の限界に挑め~」のテーマの下で実施されました。これまでたまっていたうっぶんを一気に晴らすかのような生徒たちの元気な姿が見られました。また、今年初めて取り入れた「親子綱引き」も、平日にもかかわらず、多くの保護者の方に参加いただき、大へん盛り上がりしました。

そして、体育祭一番の盛り上がりは、最後3つのプログラムでした。1・2年生男子の組立体操『スカイボーイ』では、昨年拍手喝采を浴びた7段ピラミッドを1段上回る8段に挑戦し、見事成功しました。1・2年生女子のダンス『シャイニングガール』は、自分たちで作ったシュシュを手首にはめ、楽しそうに踊っていました。フィナーレの3年生による『詫中総舞黎』は、運動場での練習時間がとれず、当日の朝に隊形練習をせざるを得ませんでした。練習不足を感じさせない見事な踊りはさすがでした。最後のポーズも華麗に決め、体育祭を締めくくってくれました。

これまで秋に実施されていた体育祭に見劣りしない、すばらしい体育祭でした。体育科の高橋先生、岩崎先生、永井先生を中心に、全員の先生方が練習から生徒たちに積極的に関わり、指導していただいた結果です。改めて、“チーム詫間”の絆を感じることができました。がんばった生徒や先生方に心からの拍手を送ります。そして、私たちを支えてくださった保護者、地域の方にも感謝申し上げます。

